

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393800079
事業所名	グループホームこまきの泉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に区分変更となったが、これまでに2回のホーム内感染を経験しており、感染に対する警戒を緩めてはいない。地域の行事は徐々に再開の方向に向かってきてはいるが、利用者の行事参加に関しては、周囲の状況を見ながら対応する方針である。ボランティアの受入れも中断しているが、訪問理美容は再開されている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	前年度同様、今年度も運営推進会議は6回すべて書面開催となった。ホームからの情報提供だけにならないよう、会議メンバーから意見や要望を引き出そうとしているが、反応は薄く、返信はほとんどない。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	毎月2名の介護相談員の訪問が再開された。介護相談員が聞き取った利用者の意見や要望は、市が取りまとめて市内のすべてのグループホームにフィードバックされている。市内では徐々に認知症カフェが再開されており、地域包括支援センターを通して開催案内が届く。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	コロナ感染に対する警戒を緩めず、家族面会は制限を設けて認めている。現在は、事前予約の上、玄関先で15分以内の面会が可能である。家族面会の場合には、極力管理者が家族と対面し、意見や要望を聞き取るようにしている。毎月発行の「こまきの泉通信」で、ホームの取組みや利用者の状況を伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	—
総合評価		○

【備考欄】

前年度同様、今年度も運営推進会議は6回すべて書面開催となった。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								